



平成27年10月30日

各位

上場会社名 麻生フォームクリート株式会社
 代表者 代表取締役社長 河村 洋介
 (コード番号 1730)
 問合せ先責任者 管理部担当部長 木下 慎一
 (TEL 044-422-2061)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月15日に公表しました平成28年3月期第2四半期累計期間及び通期業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,898	4	8	4	1.17
今回修正予想(B)	1,628	△29	△25	△23	△6.80
増減額(B-A)	△270	△33	△33	△27	
増減率(%)	△14.2	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	1,861	0	3	2	0.78

平成28年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,279	109	116	87	25.48
今回修正予想(B)	4,000	64	71	50	14.65
増減額(B-A)	△279	△45	△45	△37	
増減率(%)	△6.5	△41.3	△38.8	△42.5	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	4,108	103	118	107	31.43

修正の理由

平成28年3月期第2四半期(累計)の売上高につきましては、主力の気泡コンクリート工事の受注高が、見込んでいた工事の発注遅れなどから計画を下回り、また一部工期のずれ込みもあり、完成工事高も計画を大幅に下回ったことから、全体の売上高は前回予想より減少し1,628百万円となる見込であります。

各段階の損益につきましては、施工効率の向上に取組むとともにコスト低減に注力した結果、完成工事総利益率は改善しましたが、売上高の絶対額不足から営業損失29百万円、経常損失25百万円、四半期純損失23百万円となる見込みであります。

平成28年3月期通期の売上高につきましては、気泡コンクリート工事において、今後遅れていた公共工事の発注が増加すると見込まれ、また民間の大型工事の受注も見込んでおりますが、工期や当社の施工体制を考慮した結果、売上高は前回予想より減少し4,000百万円となる見込みであります。

各段階の損益につきましても、売上高の減少見込みから前回予想より減少し、営業利益64百万円、経常利益71百万円、当期純利益50百万円となる見込みであります。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は、様々な要素により記載の予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おください。

以上